

# 校長室だより

## 伸びる力を信じて

毎年この時期になると思い出すエピソードがあります。

もう半世紀以上前のことです。何の花だったのかは忘れましたが、今は亡き祖父から苗をもらった当時小学生の私は、早く花を咲かせたくて毎日毎日大量に水やりをしていました。

そんな私の姿を見て「水はやりすぎると根が腐っちゃうよ。畑の土は自然の雨で水分を蓄えているから平気なんだよ。根は水を求めて自分で伸びていくからね。植物の力を信じてあげればいいんだよ。」というようなことを言われた記憶があります。

このことは子供たちを育てることにも通じるように感じます。

私たち大人は、毎日子供たちを前にして、どうしても「教える」ことや「助ける」こと、「守ること」を中心に考えてしまいがちです。

しかし、子供たち自身、学ぶ力や伸びる力を持っています。

それにも関わらず、日々の生活の中で「水のやり過ぎ」、すなわち、手を焼きすぎて過保護にしたり、教え過ぎたり、イヤなこと困難なことから守り過ぎたりしていることも多々あるのではないのでしょうか。

親や教師が、良かれと思って教えたり、指示したり、やってあげたり、守り過ぎたりしていることが、場合によっては子供自身の成長を阻害していることもありそうです。

植物が水を求めて、広く、深く根を伸ばしていくように、子供たちも自分で伸びていく力があることを信じ、手出し口出しせずに、ときには見守っていくことも大切なことだと考えます。

さて、5月最大のイベントは、運動会への取り組みです。

これから気温の高い日が増えますが、水分補給をしたり日陰で休ませたりしながら、運動会に向け体を作っていきます。疲れて帰る日も増えるかと思いますが、お子さんの体調に気をつけながらも、ぜひ励まし、見守っていただければと思います。よろしくお願いします。

校長 中田邦明